

龍谷大学視察・桂高校研究発表会に参加して

一月九日～十日に教員四名・生徒四名・計八名が滋賀県開催の龍谷大学農学部新設説明会と京都府桂高等学校SSH研究成果発表会に参加しました。

環境科学科一年

田中凌

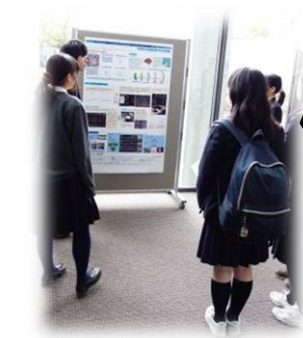
今回、大学視察と発表会

に参加し、貴重な経験をしました。龍谷大学では来年度から農学部ができ「これからどうして行くか」ということを詳しく考えておられ、レベルの高さを知ることができました。発表会では、同じ高校生とは思えない発表内容でした。身近なことを幅広い考えでまとめておられ、是非、自分の課題研究に生かしていきたいと思います。今回の視察研修で学んだことを自分の力にし、頑張っていきたいと思えます。

どのような研究が分かるように各発表にてパネルが作成してありました。また、休み時間を利用して多くの生徒が各発表者に対して質問をしていました。



龍谷大学では、来年度の農学部開設に向けて工事が着々と進んでいました。



一日目 瀬田キャンパス
農学部新設説明会

二日目 深草キャンパス
SSH研究成果発表会

出雲市駅

瀬田

深草

京都駅

動物科学科二年

金山 奈央



発表の様子です。図・グラフが有効に活用してありました。

龍谷大学の説明会では、新しく農学部が開設されるとのことでした。四つの学科があり、植物バイオから植物を育て加工し流通していくところまでが四つの学科で専門的に学ぶことができ、「食の循環」という言葉を大切にしておられました。

桂高校の研究発表会では、パワーポイントの作り方がとても見やすく、研究内容が分かりやすかったです。また、研究の方法や比較グラフなども様々な観点からまとめておられ、どのチームも素晴らしい発表でした。この貴重な経験を今後の課題研究や進路決定に生かせるように頑張りたいと思います。

植物科学科二年

伊藤 穂乃花

人に伝えること、人に知ってもらうことの大切さ、そして難しさを学んだ気がします。研究だけで終わらず、人に理解してもらええる言葉を選ぶということも自分が理解することよりも難しいけれど、結果を広げていくことは大切なことだと思います。だからこそ、これから本格的に始まっていく課題研究を研究だけで終わらせずに意味のあるものにしていきたいと思っています。二日間、農業について考え直し、高校生活で農業から多くのことを学んでいきたいです。

食品科学科一年

青木 茉歩

「農学」は生きていくために欠かせない。「食」とそれを支える「農」の人の命に直結した、とても重要なものだと知りました。これからの未来、食料自給率の低下など食や農についての問題は進んでいくばかりです。そのような問題を解決するためにも、農学部で養われる力は、これからの将来にとっても大切なものになってくると思いました。研究発表会では、どれもレベルが高く、地域と連携した研究を行っておられました。発表者の方々が堂々としておられ、質疑応答の際も、その場できちんと答えを考え、丁寧に回答されていました。今回の経験を生かし、二年生から始まる課題研究は、より専門的な研究をしていきたいと思っています。



発表の準備中



パネル



パネル